

平成23年度第1回千歳市中小企業振興審議会 開催概要

日 時 平成23年10月25日(火) 10:00~11:15

場 所 議会棟大会議室

出席者 千歳市中小企業振興審議会委員(12名)

入口委員(会長)、力示委員(副会長)、宮下委員、加藤委員、登立委員、
菅野委員、小坂委員、田中委員、本庄委員、松浦委員、横井委員、三輪委員
事務局(5名)

産業振興部次長、商業労働課長、商業労働課商業振興係長 ほか

会議次第

1 開 会

2 委嘱状交付

3 副市長挨拶

4 会長及び副会長の選任

会長に入口委員、副会長に力示委員を選任。

5 議 事

(1) 報告事項

報告第1号 千歳市を取り巻く経済等の概況について (別冊1)

報告第2号 千歳市中小企業振興融資について (別冊2)

<報告抜粋(第1号)>

・人 口

平成23年3月末現在の人口は40年前の昭和46年と比較して3万6,400人ほど増加し、9万3,212人、世帯数は約2倍の4万4,210世帯となっている。人口動態は減少傾向にあり、平成22年度は305人の増加となっている。

・事業所

平成22年度平均の千歳圏の有効求人倍率は、0.40倍と前年度を0.04ポイント上回っているが、全道平均と同様、低い数字で推移している。平成22年1月以降の千歳と恵庭地域の月間有効求人倍率は、0.3倍から0.4倍台の間で推移し、今年4月、5月は0.3倍を下回る数値となったが、その後は回復傾向にある。

・観 光

平成22年度の観光客入込数は、対前年度比で1.2%の減少となっている。市街地においては、工場見学などへの入込みが増加したが、天候不順などの影響により、イベントの入込みは減少し、対前年度比で1.6%減少している。支笏湖地区においては、「氷濤まつり」などのイベントやキャンプ場の入込みが増加したことにより、対前年度比0.5%増となっている。

・工業

平成 22 年度の工場数は前年から 11 減少し 89 工場、従業者数は、前年比 12.6%減、製造品出荷額等は 3%の減少となっている。なお、この出荷額は全道第 5 位である。出荷額等では電子部品・デバイス・電子回路、食料品の割合が高くなっている。

現在、当市の特性と優位性を活かした「光関連産業」、「食品関連産業」、「物流関連産業」の 3 業種を中心とした企業立地の促進や産業集積を図るとともに、東日本大震災に伴うサプライチェーンや企業の事業継続計画の見直し、リスク分散などに照準を合わせた誘致活動を展開している。

・商業

直近（平成 19 年）の商業統計調査結果は、前回（平成 16 年）結果に比べ事業所数 8.5%増、売り場面積は 23.2%増、年間商品販売額は 1.2%増加しており、郊外型アウトレットモールの第 2 期オープンが主な要因と考えられる。

・緊急経済対策

東日本大震災の発生に伴い、消費活動の低下や観光客減少などにより市内経済への影響が生じたことから、市では、補正予算により緊急経済対策を講じた。

「ちとせわくわくサマーセール」

飲食店、ホテル、小売店などをはじめ様々な業種において売上減少などが見られたことから、幅広く消費意欲を喚起し、地域の経済活性化を図ることを目的として、千歳商工会議所、千歳市商店街振興組合連合会、千歳市で実行委員会を組織し、スピードくじと宝くじ方式の併用により景品などが当たるセールを実施。

「観光客誘致宣伝事業」

実施団体は支笏湖温泉旅館組合であり、観光客の入込みの回復を図ることを目的に、当市の魅力を伝えるパンフレットやポスターの作成、観光雑誌等への広告掲載、街頭キャンペーンなどを実施。

「支笏湖地区宿泊促進事業」

市が支笏湖温泉旅館組合に委ねて実施したものであり、前年同月の宿泊者数である約 9,400 人を目標として、同地区のホテルや旅館の宿泊者に「買い物・利用券」を贈呈。

「プレミアムリフォーム券発行事業」

市内建設業の活性化と市民の住宅環境整備を促進することを目的として、千歳商工会議所が実施団体となり、住宅の各種リフォーム工事に使用できる、10%のプレミアム付きリフォーム券を発行。

これらの事業については、市民や宿泊者、また、事業者から寄せられた声などから一定の成果があったものと考えている。

<報告抜粋（第 2 号）>

千歳市中小企業振興融資制度は、市内金融機関 6 行に融資原資を預託し、各金融機関は、市の預託の倍額以上の自己資金を加え、運転資金など 6 つの資金の融資を行っているものである。平成 22 年度の融資決定額の合計は 103 件、5 億 8,937 万円となっている。融資件数は前年度より 12 件増加し、前年比 13.2%の増、融資額は 3,688 万円減少し、前年比 5.9%の減となっている。

資金メニューの中では、信用保証協会の 100%保証に対応する「小口企業資金」の利用が進んでいる。当市が全額補給している保証料額については、約 1,070 万円となっている。

平成 22 年度のセーフティーネット保証認定件数は、165 件となっており、この保証を使い、北海道の中小企業振興資金のあっせんを受ける事業者が平成 20 年度以降増加しているが 22 年度は 88 件と件数が減少している。

「千歳市商業振興プラン」についてであるが、「商業機能の活性化」、「中小企業の経営支援」、「魅力ある地域特産品の創出」の3つを柱とし、「心がかよい 魅力あふれる 商業振興」を目指していくものである。後ほど冊子をご参照いただきたい。

(2) 講話

講師を招き「最近の経済動向と経営力強化の方向性」についての講話を開催。

(3) その他

<委員>

昨年6月に中小企業憲章が閣議決定され、中小企業家同友会においても中小企業振興基本条例の制定を進める運動を全国的に行っているところである。千歳市にも振興条例があるが、古くに制定されたものであり、どちらかという金融政策が中心である。

本日は、千歳市の産業や商業振興プラン等について見させていただいたが、千歳の特徴、いいところなど、気づいていないところもあるかもしれない。一度深く「棚卸し」してみてもどうか。

<事務局>

本日説明した商業振興プランのほかにも観光や農業分野においても基本計画がスタートしたところである。今後、本審議会委員に他の計画についても紹介し、意見をいただくことも可能かと思われるので次回開催に向けて検討したい。

6 閉 会